

事務事業名		船生小学校屋内運動場改築事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業	
総合計画	政策名				所属課	担当
	施策名				課長名	担当者名
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		1 事務事業概要 当シートは、実績のみ掲載。概要・活動指標等は、別様式に記載。 2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること)					

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	学校	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	学校建物で耐震化が必要なもの	ア 学校数	校
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	耐震性のある建物にし、児童生徒の安全を守り、また避難所として活用する	イ 耐震化対象学校建物	棟
		ア 耐震化率	%

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	校	4	4	4	4	4
	イ	実績値	校	6	4	4	4	4
対象指標	ア	目標値	棟	1	1	0	0	0
	イ	実績値	棟	1	1	0	0	0
成果指標	ア	目標値	%	67	67	100	100	100
	イ	実績値	%	67	67	100	100	100

計画		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成32年度	
事業費	国庫支出金	千円	500	4,000	40,000			
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,000	8,000	145,000			
	事業費計(A)	千円	0	1,500	12,000	185,000	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2			
	延べ業務時間	時間	80	160	240			
	人件費計(B)	千円	0	320	640	960	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,820	12,640	185,960	0	0

実績		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成32年度	
事業費	国庫支出金	千円			88,655			
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,680	12,600	170,783			
	事業費計(A)	千円	0	1,680	12,600	259,438	0	0
人件費	正規職員従事人数	人						
	延べ業務時間	時間						
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,680	12,600	259,438	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	児童の利用の他、学校開放として一般の方にも利用いただく公共施設として妥当であった。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	安全性を確保する観点から、早期対応が必要であり、船生地区の小学校統合を待ってすぐに実施できたことから妥当であったといえる	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	地域の元気臨時交付金を活用することで、従来よりも大幅に町負担を抑えることができた	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	公共関与の妥当性同様、公共施設として妥当であった。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 年 月 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 26年 7月 1日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	<p>完成した体育館は学校及び一般利用者にも好評であり、工事日程も体育館が使えない時期をつくらずに完成することができたため授業等に支障はなかった。</p> <p>また、併せて行った外構工事において、車両通路を体育館の北側に設けることで児童の安全を確保したり、旧体育館解体工事の工事車両進入のため開通した南側の旧正門を今後も緊急時には利用できるように加工したなど、学校と密に協議しながら、効率的かつ有効に工事することができたことも学校に喜ばれている</p> <p>費用についても、従来の補助に加え、地域の元気臨時交付金を活用することができ町負担を大幅に抑えることができた。</p> <p>今回の工事は地域元気臨時交付金の対象とするため、H24に前倒して補正予算に計上後H25に繰越しており、H26への繰り越しはできない状況の中、アベノミクスや消費税増税の影響で、資材・足場・作業員の確保が困難になり、工期どおりに完成できるか危うい状況であった。市場の景気状況等により全国的に工事が集中した場合にこういったことが起りうるが、対応策がないのが現状であり、課題である。</p>
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性)

優(成果大) 良(良好) 可 不可(成果なし・中止・計画変更必要)

(2) 総評 文部科学省の補助金及び、地域の元気臨時交付金の活用により、町負担が相当軽減された。 また、施設の安全性が確保されたことに加え、利用者の満足度は高く、当事業の実施の効果は大きいことが認められた。	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業